

# ポポポコ 新聞

[Ponpoko News]

第 80 号



=発行=

2024年4月7日

喜多見ポコ会議

<http://ponpoko.jp/n>



野川公園・武蔵野公園

神代植物公園へ続く御塔坂橋よりさらに先へ進むとまず野川公園があります。園内にソメイヨシノなど約**500本**。お花見しながら野川で遊ぶこともできます(写真)。野川公園の北側にある二枚橋を渡り西武多摩川線をくぐると武蔵野公園があります。園内にヤマザクラ、ソメイヨシノなど約40品種**900本**、早咲きから遅咲きまで多品種あるので長期間お花見を楽しめます。バーベキューは要予約。帰りはバテます。



神代植物公園

野川を上流へ進み中央道の先にある御塔坂橋(おとどかばし)から武蔵境通りを上ります。坂はゆるやかで自転車歩行者専用道路になっており楽です。園内には江戸時代に作出されたサトザクラ(里桜)を中心に約60品種**750本**、名札が添えられていて分かりやすいです。ソメイヨシノは芝生広場周辺やバラ園の北側に多数あります。この紙面背景の写真は神代曙(ジндаイアケボノ)、神代植物公園で見出された品種です。月曜・年末年始休園、有料



砧公園

喜多見からは坂を上ります。園内のあちこちにサクラが植えられています。特に多いのはファミリーパーク内です。オオシマザクラ、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、サトザクラなど約**840本**。大木が多く、枝が地面すれすれまで伸び、近くで花を楽しむことができます。

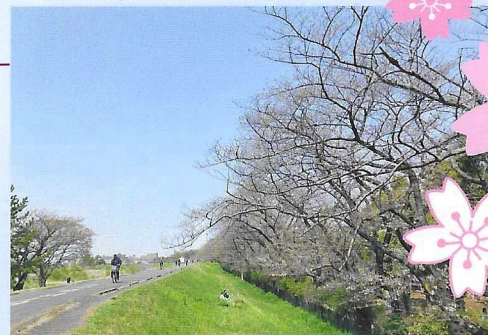
## 多摩川五本松付近

多摩川の土手を上流へ進み、小田急線や世田谷通りの先、狛江高校から西河原公園付近までソメイヨシノなど約**150本**、西河原公園内にも約**80本**。五本松付近は多摩川流域の中でも特に広々として眺望が良く新東京百景(1982年)に選定されています。狛江市内の土手も舗装されて自転車で走りやすくなりました。歩行者優先ですのでゆっくり走りましょう。(写真左:五本松、右:一分咲きの桜)



生田緑地

山全体でサクラ約**1500本**、内ヤマザクラ約1000本。桜スポットは榊山広場で、展望台からは東京都心や多摩川など360度のパノラマも楽しめます。運動不足の方は中央広場側から上るのがお勧めです。中央広場に昆虫や動物の標本が並ぶかわさき宙と緑の科学館(プラネタリウムは有料)があるほか、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムなどもあります。多摩川の多摩水道橋から自転車で10数分ですが子連れで通り抜けるのは難しいかも。鉄道では小田急線「向ヶ丘遊園駅」下車、南口から徒歩約13分。(写真:生田緑地提供)



# お花見 に行こう!

今年のサクラ(ソメイヨシノ)の開花は  
今年より遅く東京では3月29日、この新聞発行頃満開になりそうです。そこで今回は、頑張れば自転車で行けるかもという範囲のお花見スポットを集めてみました。



きたみふれあい広場①・野川緑道②・野川緑地広場(喜多見9丁目・成城4丁目)はソメイヨシノ、ヤマザクラなど約**100本**。きたみふれあい広場は築山のある多目的広場を囲むように植えられています。喜多見中学校沿いの喜多見緑道③(喜多見4丁目)約**24本**。次大夫堀公園④(喜多見5・7丁目)はソメイヨシノ、シダレザクラなど約**40本**。稲荷塚古墳(喜多見4丁目)、知行院(喜多見5丁目)、妙法寺(喜多見6丁目)もおすすすめです。

## 近場では





昭和の歴史が凝縮された

## 旧小坂家住宅



秋の紅葉が素敵です

国分寺崖線沿いの岡本、瀬田、上野毛あたりには、かつて華族や政財界人が週末を過ごすための別邸が多くありました。唯一現存する旧小坂家住宅は1999年、世田谷区指定有形文化財に指定され、敷地全体が「瀬田四丁目旧小坂緑地」として公開されています。

### 戦災で本邸に、大観氏も一時住む

屋敷は、信濃毎日新聞社長、信越窒素肥料（現・信越化学工業）社長、衆議院議員などを歴任した小坂順造氏が昭和12年に別邸として建てたもので、太平洋戦争末期に戦災で本邸が消失してからはこの別邸を本邸としました。

日本画家・横山大観氏は空襲が激しくなった昭和20年3月9日にこの敷地内にあった茶室に身ひとつで移り住み、翌3月10日に空襲で本宅が焼けたため3か月ほど滞在しました。

### 須賀神社看板は三男・徳三郎氏

喜多見四丁目にある須賀神社の社殿にかかる看板に「小坂徳三郎 謹書」と書かれています。徳三郎氏は順造氏

の三男で、戦後1年ほど、この別邸で過ごしました。信越化学工業や信濃毎日新聞の社長、経済企画庁長官、運輸大臣などを歴任、一時は総理総裁候補として大平正芳、中曽根康弘とともに「大中小」、安倍晋太郎、竹下登とともに「安竹小」と徳三郎氏の名も挙がるようになりましたが、運輸大臣時代に国鉄改革に消極的と見られたことが支持を失う一因になったとされています。



### 百合子氏の夫は美濃部亮吉氏

小坂邸に2か月ほど住み込みで働いたことがある節子さん（92才）によると、順造夫妻は遠出することがよくあり、その間は長女・百合子氏の婚家である吉祥寺の美濃部亮吉氏（後に東京都知事）宅へ行くように言われたそうです。

亮吉夫妻の家は進駐軍に接收されており、美濃部家のお手伝いさんに誘われ2人で進駐軍のパーティーを見に行ったのが節子さん一番の思い出です。

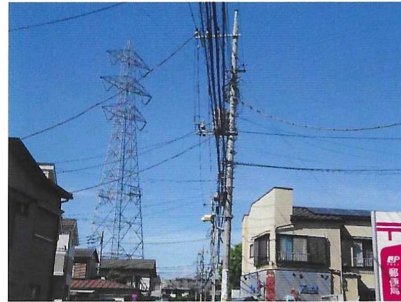
### 四季折々に楽しむ

敷地内では、春はカタクリ、夏は湧水地周りにハンゲショウが咲き、夏は七夕飾り、秋は十五夜、紅葉、冬は富士山も見えるなど四季折々に楽しむことができます。喜多見からは多摩堤通りの吉沢橋交差点を左折し大蔵通りを進むと崖線下の裏門に着きます。昭和の歴史を感じに行ってみませんか？

参考資料：世田谷トラストまちづくり「ようこそ瀬田四丁目旧小坂緑地へ」ほか／節子さんは喜多見在住Eさんのお母さん／月曜・年末年始休園、無料

続・送電線をたどってみました

## JR東日本の鉄塔



狛江岩戸南郵便局近くにある鉄塔

『ポンポコ新聞』79号で紹介した昭和15年建設のイカ鉄塔、見るたびに「イカちゃん♡」と声を掛けてエネルギーをいただいています。今回は多摩川の少し上流を渡る送電線を調べてみました。

この送電線（15万4千ボルト2回線）はJR東日本の送電線で武蔵境交流変電所と新鶴見変電所をつないでいます。

JR東日本は鉄道の走行や駅構内の照明・空調などに使う電気の約6割（首都圏では9割）を自社発電で賄っています。発電所は新潟県の信濃川水力発電所と神奈川県川崎火力発電所。できるだけクリーンエネルギーの使用割合を高めるため、火力発電の量を水力発電の量に合わせて調整しています。

送電線を支える狛江市内の鉄塔は31号から45号まで15基あり、すべて大正15年11月建設。大正は15年12月25日まで、同日から昭和です。今年で98才、補修しつつ現役で頑張っています。

参考資料：JR東日本「クリーンな電力で列車を動かす」、同「JR東日本要覧」、HP「高電圧送電鉄塔追跡」（現地確認できない建設年はこれによります）

ごみ拾いと樹木のごみ除去

## 野川ガサガサ



さっそくジョウビタキ（オス）

10月29日と2月4日に野川ガサガサ（ごみ拾い、階段清掃）を行いました。特に2月4日は、フライパン、水道看板、玉網、傘など大量のごみ拾い。さらに中野田橋上流左岸にあるヤナギ2本にひっかかっていた枝葉やごみを取り除きました。後日見に行くときさっそくジョウビタキやカワセミが来ていました。気に入ってくれて嬉しいです。

## INFORMATION



### 春の野川ガサガサ

中野田橋～茶屋道橋間で、ごみ拾い（階段清掃含む）を行います。使いきり手袋、軍手、ごみ鋏、ほうきはあります。

【日時】4月28日（日）13:30-14:30

【対象】中学生～大人

（小学生以下は保護者同伴）

【集合】次大夫堀公園築山横の野川階段

※ 天候不良の場合は、4月29日に延期します。

※ 当面の間、生きもの調査は内輪（ポンポコ会員程度）で実施します。